

2025年10月19日、大阪心斎橋のホテル日航大阪で、北大関西同窓会2025年総会・講演会が開催されました。

日時: 2025年10月19日(日曜日) 13:00-19:00

会場: ホテル日航大阪 7階「フォントナの間」

次第:

◇13:00 受付開始

岩井 圭也先生の新刊「サバイブ！」を参加者全員に進呈

岩井 圭也先生 サイン会(1)

◇13:30~14:15 北海道大学関西同窓会 通常総会

◇14:30~16:10

札幌農学同窓会関西支部20周年記念 秋季講演会

講師: 小説家 岩井圭也先生 (H24 農学院応用生物)

「小説が人生を切り拓いてくれた」

◇16:20~16:40

北海道大学理事・副学長 高橋 彩先生 講演会

「北海道大学の創基150周年事業及び教育国際化について」

◇16:40~17:00 岩井 圭也先生 サイン会(2)

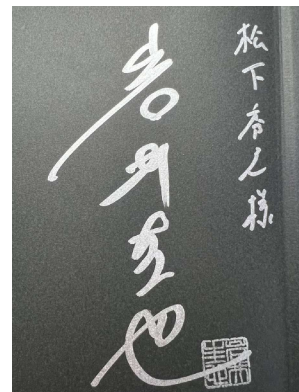
◇17:00~19:00 懇親会



受付で参加者全員に、岩井圭也先生の新刊「サバイブ！」を無料進呈し、先生のサイン会を開催しました。

岩井先生は、平成24年北大農学部農芸化学科大学院(修士課程)修了し、「われは熊楠」という作品で昨年の直木賞にノミネートされた小説家です。

直近のフジテレビ系列水十で放映された「最後の鑑定人」の原作者で、また、彼のデビュー作の「永遠についての証明」は10/5、12に、NHK BSで放映されました。いま注目の作家です。



今年の関西同窓会の総会では、総会、講演会、懇親会を通して参加いただき、講演会のみ参加は受けませんでした。

参加者総数は76人で、内訳は、来賓8人、昭和卒53人、平成卒15人、でした。同窓会では希少な存在(笑)の、若い女性が6人参加されました。

講演会では、岩井圭也先生から、札幌農学同窓会関西支部20周年記念秋季講演会として、「小説が人生を切り拓いてくれた」というタイトルでご講演いただきました。

その後、北海道大学 理事・副学長の高橋 彩先生から、「北海道大学の創基150周年事業及び教育国際化について」というタイトルでご講演いただきました。



17時から、同じホテル日航大阪の「フォントナの間」で、懇親会を開催しました。来賓の方々にご挨拶をいただき、校友会エール会長の真弓明彦様の乾杯で開宴、和やかな歓談の輪が広がりました。

全部で9テーブルでした。各テーブルの写真です。



宴たけなわのなか、もと応援団で恵迪寮出身の岩井隆郎様に音頭をとっていただき、全員が肩を組んで、「都ぞ弥生」を熱唱し、お開きとなりました。

